

「三方ヶ原の戦いの記念碑」の除幕式を、7月15日に開催しました。



本年7月、犀ヶ原古戦場(中区鹿谷町)に「三方ヶ原の戦いの記念碑」を建立しました。今回は、大河ドラマ「どうする家康」で本多忠真役を演じる波岡一喜さんが、記念碑の除幕式に参列されたときのインタビューをお届けします。

—— 建立された記念碑の前に、何を感じられましたか

誰のための戦であったのか、何を守るための戦であったのか。戦にはいろいろな意味があると思っています。そして、その戦で亡くなった人、一人一人にもまた、さまざまな思いがあったと思っています。

—— ここ犀ヶ原古戦場に三方ヶ原の戦いで命を落とした徳川軍、武田軍両兵の鎮魂と、平和への祈りを込めた記念碑が建立されました。



▲記念碑には、大河ドラマ出演者の名前が刻まれています

私が演じさせていただいた本多忠真の碑がある場所に、「どうする家康」のキャストの名前が記された記念碑が建てられたことに、とても榮譽を感じています。

一人でも多くの人に犀ヶ原古戦場に足を運んでもらい、本多忠真の碑、そして三方ヶ原の戦いの記念碑に手を合わせていただき、戦で亡くなった人への思いを大切にし、戦のない世の中になるよう思いをはせていただくといい機会になればうれしく思います。

—— 浜松の皆さんにメッセージをお願いします

以前、映画の撮影で1カ月ほど浜松に滞在していたことがありました。そして大河ドラマで本多忠真を演じさせていただき、こうして浜松を訪れることができました。浜松にはとても縁を感じていますし、出身の大阪、今住んでいる東京に続く、第三の故郷だと思います。本多忠真も好きですし、浜松も大好きです。

徳川家康公ゆかりの地・浜松応援隊
家ジヨが行ってみた! 第4回

伝承が残る湧き水

「涼みの御所」

今回家ジヨの2人が訪れたのは、天竜区二俣町鹿島にある鹿島八幡宮です。

二俣城が陥落。逃げ帰る道中で……

西鹿島駅の北西に位置する鹿島八幡宮には、湧き水でできた小さな池があります。この池には、1572(元龜3)年、武田軍によって二俣城が攻め落とされた際、家康公が逃げる途中で寄ったという伝承があります。

●「ふるさとものがたり天竜」※1より

大急ぎで向きを変えて浜松へ帰る途中、西鹿島八幡宮神社の森の中に、清らかな霊水があふれている湧き池を見つけた。喉が渇いていた家康公は、馬をとめ、「ああ、うまい水じゃ」と腹いっぱい飲んだ後、馬のくらをそばの松の木の枝にかけて、馬にも水を与えて休ませた。それで湧き池付近一帯の土地を「涼みの御所」、家康が馬のくらかけた松を「家康鞍かけの松」と呼ぶようになった。

松は現存していませんが、水は今でも湧き出ており、「涼みの御所」という地名も残っています。ちなみに八幡宮の近くには、昔この地名を冠する



今回訪れた場所

鹿島八幡宮

天竜区二俣町鹿島
(天竜浜名湖鉄道、遠州鉄道「西鹿島」駅から徒歩およそ10分)

地元の人々も潤した湧き水

池の下流部は、四角く4段に仕切られています。これは、昭和30年代頃まで地域共同の飲み水や米洗い、野菜洗い、洗濯の水として使われていた名残りとのこと。

地域の人々が、湧き水を
守りながら大切に使う
きたんだね。



※1 上阿多古草ぶえ会、1987年発行。神社名は原文のまま表記しました。
※2 三重県伊勢市にある、伊勢神宮の博物館。